Devotion Guide/ユースマナ

Youth Manna

2019/7/8-7/14



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに 起きて寂しいところに出かけて行き、そこ で祈っておられた。

2019/7/11(木)

Ⅱ サムエル 1 章

ダビデの命を狙い続けたサウルの 死がダビデに伝えられ、長い戦いが 終わりました。しかし、ダビデにとっ て喜びと解放の日ではなく、悲しみ と哀歌をささげる日となった。ダビ デはサウルを主の油注がれたものと して認めていたし、ヨナタンを心か らの友だと思っていたからです。

ダビデはサウルとの長い敵対関係の試練の中で、神様が立てた権威に従うこと、そして神にさばきを委ねることを学び、ヨナタンからはダビデを助けて何の見返りをも要求しない純粋な善意と愛を学んでいました。

良い時も悪い時も、いつも神様と 共にあることを覚えて歩もう!今日 も神様はあなたに語っておられま す!聞く心を持って祈り続けよう!

2019/7/8(月)

マタイ 21:12-22

イエス様がエルサレムに入城された後、真っ先に向かった場所は宮でした。そこは人々が神様と交わる大切な場所でしたが、その礼拝の場所には、お金目的の両替人や商売をする人で一杯でした。イエス様がどんな心で、激しく彼らを追い出されたのかを想像してみよう。。。

今や私たち自身が聖霊の宮(1コリ 6:19)であり、いつでも私たち自身が聖霊の宮(1コは神様と交わることが出来ます。それてその交わりは、神様ご自身が望んでいることです。ですが、それにふっているかどけれいつでも気を付けないことだね。今日、心の一日ならないことだね。今日、して一日を始めよう!!

2019/7/12(金)

Ⅱ サムエル 2:1-17

ダビデは新しい歩みを始めて、王 になるという時にまずした事は、神 様に聞くという事です。そして神様 に従い、自分の目的を神様の御心と 一致させました。これは私達が歩む べき人牛そのものです!

自分の将来や毎日の生活で何を基準に考えているかな?何を1番優先させて考えているかな?アブネル自分がしたいと思った事で王を定した。その結果は敗北です。自分がしたのおました。その結果は敗北ずに自分がしたのおりで生きて行くなら勝利が与えらいよね!神様を選ぶありにとれない喜びを受け取らずれし神様に聞く事が出来るようにと祈ろ!

2019/7/9(火)

マタイ 21:23-32

23-27節の祭司長や長老の姿は、神様に従うものではなく、自分の都合ばかりを気にかけるものだった。

そこでイエス様は、28節からのたとえ話をもって、彼らに大切なことを気でかせようとされた。ぶどう園に働きに行きたくないと答えたが、後に思い直して行った兄と、行くと口先だけで従いてではいる。イスをあるので神に従い、悔い改めような人をいと言われた。取税人や遊女のような人をいると言われた。取税人やおような人をいるのである。

本当にイエス様に従う、とはどういう ことだろうか?よく考えて応答しよう!

2019/7/13(土)

II サムエル 2:18-32

ギブオンの池のそばで出会ったヨアブとアブネル。2人は若者なりないをさせ、それが殺し合いまたいないをいてもないで出るに、ダビデ王の国を北へにはいるはではアブネルを殺ってしまったが後のいのちを狙ってしまったが後によりではないの説得ではいるはというはというではないのがまた増えてしまった。

目標があるとそれに向かって前進することができる。だけど、何を目的にするか、その動機は何か、私たちはいつも立ち止まって考え、確認していく必要があるね。神様があなたに与えてくださっている目的ってなんだろう?聞いてみよう!

2019/7/10(水)

マタイ 21:33-46

今日はぶどう畑にまつわるお話しです。明らかに、神様とイスラエルの関係を、またこれまでに立てられた預言者、そしてイエスさまについてが語られています。

イエスさまの語りは、一つ一つ旧約聖書を引用しています。聖書の下の欄から、イザヤ書や詩篇に飛んで読んでみまってまは大きな物語を語っています。聖書が語る大きな物語は何を語ったちの身近な生活と結びついて語の生活とは何を語ってくださるです。するではあるように再を傾いたいできるイエスさまの心に耳を傾けましょう。

2019/7/14(日)

Ⅱ サムエル 3:1-21

ここではユダ部族の王としてのダビデと、サウルの将軍であったアブネルが契約を結ぶために、様々なやり取りがなされています。そこには、表面的には良さそうに見えたり、政治的には必要なことも含まれていました。

しかし、ダビデとアブネルの心の 動機は、どうだったのでしょうか。 目指すところが正しくても、動機が 正しくなければ、それは神様が喜ば れるものではありません。

私たちの日々の歩みはどうでしょうか。神様の前に、誠実な思いで進むことが出来ているでしょうか。今一度静まって、日々の選択の動機がどこにあるのか、何のためなのか思い巡らそう。